

## 特色

麻酔科は昭和53年に専従医が常勤となり実質的に始まりました。翌54年には医師も増え管理件数は1,200例あまりでした。この年に麻酔科の指導病院(現在は認定病院)に認定されています。その後昭和60年には1,500例を超えました。平成8年に本館が稼働し

手術室も増え2,000例を、平成10年には2,500例を超えました。平成24年には3,000例あまりとなっています。令和2年4月に北タワーに手術室が移転し、10室で運営しています。現在麻酔科医は常勤7名です。

## 対象疾患

各科の手術に対して全身麻酔、硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔(脊麻)にて、またそれらを組み合わせて行っています。局所麻酔は各科で行っています。

近年高齢者の手術も増えてきており、2021年全症例3,374例のうち85歳以上は239例でした。

## 診療実績

2021年(1月～12月)

麻酔管理症例 3,374例(うち緊急手術 330例)

麻酔方法別	全身麻酔	2,059例	脊椎くも膜下麻酔	36例
	全身麻酔+硬膜外	163例	硬膜外+脊麻	157例
	全身麻酔+末梢神経ブロック	847例	静脈麻酔	4例
	硬膜外麻酔	108例		

## 地域の先生方へ

患者さんの安全を一番に考えて麻酔を行っています。